安心のネットワーク
NOSAI

# いわき

いわき市農業共済組合
2015
第60号

■発行
いわき市農業共済組合
〒970-8054
いわき市平鎌田町3-3
TEL 0246(24)1166
e-mail nosai-iwaki@fukushima-nosainet.jp

NOSAIいわきホームページ
http://www.fukushima-nosainet.jp/~nosai-iwaki/

目次

P２――新年のごあいさつ
P３――ＮＯＳＡＩ全国表彰、１県１組合化について
P４――各事業からのお知らせ（水稲共済、果樹共済）
P５――各事業からのお知らせ（園芸施設共済、畑作物共済）
P６――各事業からのお知らせ（家畜共済、農機具共済）
P７――各事業からのお知らせ（建物共済）、表紙紹介
P８――各地の話題

いわき市平下大越でいちご栽培を行う舩尾さん家族
左から渡辺碧海ちゃん、美子さん、舩尾重雄さん、明美さん、隆久斗くん、佳代子さん

# 新年のごあいさつ

組合長　**木田　傳右エ門**

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、家族そろってすがすがしい新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、現在の、我が国の農業・農村をめぐる情勢は、農産物輸入の拡大による自給率の低下、中山間地域の過疎化、担い手不足、高齢化・ＴＰＰ問題や原発による風評被害など、農業の活力低下が懸念されているところであります。

政府は、昨年農業・農村の所得倍増改革を掲げ、「農地の集積」、「米政策の見直し」、「経営所得安定対策の見直し」、「日本型直接支払制度創設」の四つの改革を打ち出したところであります。又、農林水産省では、本年度より収入保険制度検討調査事業を始めたところで、これは、将来の農業担い手の収入を担保する保険の検討であり、安定した経営をバックアップしようとする保険で、期待されるところであります。

さて、広報紙等ですでにご案内のように、福島県の一組合化についてでありますが、平成二十八年四月に対等合併をする予定でありまして、評価員および委員、更に職員については人数は、減らさない事で、合意を見ており、福島県全体で理事は二三名、監事は四名、総代は二八五名を予定しており、合併に向け組合員に対し、サービス低下にならない様に慎重に話を詰めているところであります。

今後、具体的な内容が決定次第、広報紙やホームページで、逐次お伝えしたいと考えております。

さて、東日本大震災から三年十ケ月が経過しましたが、精神的な気の重さや風評被害による農家生産物の価格の下落が続き、我が家の後継者に、農業は面白いぞ、魅力的だぞと、胸を張って言えないのが現状ではないでしょうか。

こんな時こそ、地域の団結や絆をもって、生き生きとした、高齢者とスクラムを組んで、日本農業を牽引して行こうではありませんか。

美しい日本と、未来への子供たちに美しい夢と希望を描かせる為にも、より美しい地球を目指し、本年も農家組合員の経営安定をはかり、農業生産力の発展に資するため経営のセーフティネットとして役職員一丸となって対処して参る所存であります。

結びに、平成二十七年が組合員皆様にとって、より良い年であります事と、ご家族皆様のご健勝を心より祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

## 本年もよろしくお願い申しあげます

組合長　木田傳右エ門
副組合長　草野英一
理事　富岡信平
理事　磯上忠正
理事　藁谷昭夫
理事　蛭田文男
代表監事　草野幸雄
監事　粟野茂
監事　齊藤政宏
参事　矢吹福夫
外　職員一同

## 平成26年度ＮＯＳＡＩ事業推進大会

# おめでとうございます
# 農業共済功績者受賞

三和地区

**藁谷勝一**さん

去る11月12日に東京都日比谷公会堂で関係者約１０００人を集め開催された、平成26年度ＮＯＳＡＩ事業推進大会において、三和地区の藁谷勝一さん（65）が、農業共済功績者として表彰されました。

これは長年にわたり共済部長兼損害評価員として、農業共済事業の普及推進並びに適正な組合運営にご尽力をされた功績が認められ受賞されたものであります。

「平成26年度ＮＯＳＡＩ事業推進大会において、功績賞受賞しましたことはたいへん嬉しく晴れがましい気持ちでございます。これもひとえに、組合員の皆様の日頃のお力添えによるものと、心から御礼申し上げます。

米価の下落がいちじるしく、かつてない非常事態となっており組合員の皆様は農業経営にとても苦慮されておると思われますが、希望を持って営農を継続し、適正価格販売できることを願うとともに、今後も組合員の代表として、微力ながら貢献していこうと心新たに誓う所存です。」と感謝と決意の程を語ってくれました。

## １県１組合化に向けた経過報告

福島県のNOSAIは現在、国から発出された「農業共済団体における、１県１組合化の取組の推進について」に基づき、NOSAIが将来にわたって農業経営の安定に寄与するため、県内９組合と連合会が一つの組合になる合併に向けた検討をすすめています。

平成25年９月18日に設立した福島県農業共済組合合併推進協議会は、１県１組合化（特定組合化・目標平成28年４月１日）するための調査研究、検討資料の収集、問題点の把握を行い、課題検討を重ねておりますので、検討状況について別冊にて中間報告いたします。

**基本理念**

組合員である農家との接点を一層強化し、農家の視点に立った柔軟・迅速な対応ができる組織の構築を目指すとともに、豊かで魅力ある本県農業の発展に貢献します

また、完全引受を目指すことにより、不慮の事故から受けた損害を補てんすることで農家資産を守ります

**５つの基本構想**

1. セーフティネット機能として安定的な事業運営が図れる体制
2. 組合員との接点強化とサービスの維持向上
3. 事務の効率化による運営コストの更なる削減
4. コンプライアンス態勢の確立
5. スピード感を持った事務処理

## 水稲共済から

### 平成26年産　作柄

水稲の作柄は、出穂期以降９月上旬まで日照時間が平年を下回っていたため、登熟がやや不良と見込まれたものの、田植期から出穂期まで天候に恵まれ、全もみ数が多くなったことから福島平均で10ａあたりの予想収穫量は560kg（作況指数104）、浜通りでは525kg（104）となりました。

### 平成26年産　被害状況

目立った被害については、６月の早い時期から市内全域でイノシシによる獣害が見られました。又、８月下旬の長雨の影響によりいもち病の被害が多く見受けられました。

いもちの被害

平成26年産水稲の共済金支払状況

| 支払地区 | 支払件数 | 支払金額 |
|---|---|---|
| 24地区 | 157戸 | 6,462,556円 |

## 果樹共済から

### 平成26年産なし　作柄

本年度の果樹の状況としましては、果実の大きさ、糖度については、平年並みでした。また、出荷量については、黒星病、カメムシの被害により、全体的に平年より若干少ない状況でありました。

### 平成26年産なし　被害状況

７月に雨天が続き降水量が多くなり、幸水の果実肥大と重なり、一部園地で裂果の被害が見られました。また、この頃から、黒星病の被害も見られました。特に今年は、カメムシの発生により被害を受けた圃場がありました。被害は少ないですが、鳥害の食害もありました。

平成26年産なしの共済金支払状況

| 種　別 | 支払件数 | 支払金額 |
|---|---|---|
| 幸　水 | 8戸 | 487,470円 |
| 豊　水 | 7戸 | 127,070円 |
| 合　計 | 9戸 | 614,540円 |

カメムシに食害されている果実

黒星病の被害

が多発しています。

**補償期間**

４ヶ月～ 12 ヶ月

**補償金額**

施設の共済価額 × 補償割合

**支払い対象となる事故**

手続きは簡単です。お申し込み、お問い合わせは今すぐ　NOSAIいわき　電話24−1166 まで

# Information

## 園芸施設共済から

### 平成26年度　被害状況

本年度の被害の主な状況としては、10月に発生した台風及び低気圧の通過に伴い、被覆物への被害が散見されました。

又、内作物に関しては一部地域で水害の被害が散見されました。地球規模の異常気象に伴い、数年前より毎年続く春先（３月～４月）にかけての爆弾低気圧に備え、未加入設備の共済加入をおすすめします。

雪害を受けたハウス

風害をうけたハウス

**平成26年４月から11月までの共済金支払状況**

| 支払地区 | 支払件数 | 支払金額 |
|---|---|---|
| 施設被害 | 2件 | 144,119円 |
| 内作 | 19件 | 723,566円 |
| **合計** | **21件** | **867,685円** |

**●27年2月より園芸施設共済の補償が拡充されます。**

・施設本体と付帯施設の耐用年数の見直し（耐用年数経過後、再建築価格の20%から50%に）
・農家選択で追加補償（耐用年数内100%まで耐用年数経過後75%まで）
・農家選択でパイプハウスの撤去費用の追加補償

## 畑作物共済から

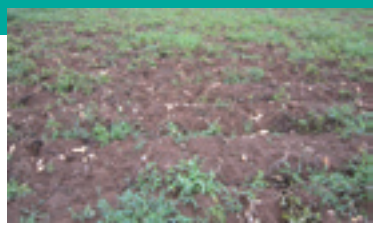
### 『ばれいしょ共済』

#### 平成26年産　作柄

本年度のばれいしょの状況としましては、全体的に気候に恵まれ、梅雨時期の降水量も少なく、病気も少なかったため、上いも重及び１株あたりの芋数は平年並みでした。

#### 平成26年産　被害状況

一部圃場でイノシシの被害が見られました。


ばれいしょ・イノシシ被害

### 『大豆共済』

#### 平成26年産　作柄

本年度の大豆の状況としましては、８月～９月の降雨により、湿潤害が見られましたが、全体的に天候にも恵まれ、作柄は平年並みでした。

#### 平成26年産　被害状況

８月～９月の降雨により、湿潤害の被害が一部圃場で見られました。また、イノシシの被害により荒らされた圃場がありました。

大豆・湿潤害

大豆・イノシシ被害

NOSAIの
**園芸施設共済**

## 突風にも万全の備えを

ここ数年の気象状況は予測が難しく、急速に発達した低気圧の影響により非常に強い突風が吹くことがあります。
園芸施設共済に加入し突然の被害に備えましょう。また、すでに加入されている方で園芸施設の事故が発生した場合には速やかに組合までご連絡下さい。

12月から３月にかけて、強風・突風によるハウスの被害

**加入できる施設**

## 家畜共済から

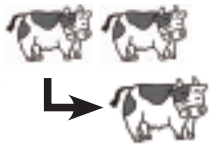
### 異動の連絡忘れていませんか?

飼養している家畜に異動（出生・譲渡・導入等）が生じたときは、速やかに NOSAI 家畜係へ忘れず連絡をお願いいたします。

**★こんなとき**

**－牛を出した時－**

（１頭ごとの補償は上がりますが、連絡の無い場合は共済金が免責されることがあります）



**－牛を入れた時－**

（１頭ごとの補償は下がりますが、増額して頂ければ補償は下がりません。
連絡がない場合は共済金が支払われないことがあります。）

**－子牛が生まれた時－**

（１頭ごとの補償は同じですが、連絡が無い場合は子牛の診療が出来ないことがあります。）

**平成26年４月から11月までの共済金支払状況**

| 種　別 | 支払頭(件)数 | 支払金額 |
|---|---|---|
| 死亡事故 | 29頭 | 3,188,084円 |
| 廃用事故 | 2頭 | 435,536円 |
| 病傷事故 | 464件 | 4,966,630円 |
| **合　計** | **495件** | **8,590,250円** |

※異動が適正に行われないと、免責されたり、すでに支払った共済金を返還して頂く場合があります。

### 家畜診療所だより

### カウコンフォート

### 『牛も寒さが苦手です』

ＮＯＳＡＩ福島　獣医師
**木田　勝美**

日増しに寒さが身に堪える季節になって冬到来！

皆さんの牛舎も外から寒い風が入らない様に、カーテン等の冬支度を始めているかと思います。防風対策を施しても親牛でさえ寒そうに身を寄せ合っている姿が日常的に見受けられます。体から熱を奪われない様にしているのですが、皆さんの牛舎の床はどの様になっているでしょうか？

直に腹が冷えると熱が奪われ易くなります。

熱の消費を家畜としての肉や乳の生産や成長に向ける為にも、牛床は乾燥している事が重要です。

常に牛床が清潔で乾燥している状態が最善なのですが、既製品のベストを身に着けている幼い子牛達や、灯光器を設置している牛舎などで寒さ対策している農家さんもおります。

冬は呼吸器病が多く全頭に感染、発症する農場も珍しくありません。牛舎の換気が悪ければ、細菌やウイルスを吸い込む頻度が増え感染症になる可能性が高くなります。更に牛床の糞尿から出るアンモニア臭は、牛の肺の粘膜を傷つけ、ウイルスや細菌の侵入を許す温床になります。季節に関係なく風邪が年中見られる農場があるのは、栄養状態以外に、牛舎の換気が充分なされていない可能性もあるかもしれません。某リフォームのテレビ番組の達人の言葉を拝借して言わせてもらえば、空気の導線を考えて換気をしましょう！でしょうか。

## 農機具共済から

### 平成26年度　被害状況

普及台数の増加と大型高性能化や農業者の高齢化に伴い、機械･施設による農作業事故が多発傾向にあります。

**事故防止の基本は保守点検から！**

ミッションやチェーンケース内のオイル量の点検や交換、各駆動部への注油などは、使用する油脂の種類に留意し、取扱説明書に従って行いましょう。

**事故状況**

・作業終了し納屋へ格納する際、納屋の柱に接触しキャビンガラスが割れた。
・稲刈り作業中、圃場内の泥濘にはまり脱出を繰返し、負荷が掛りクローラが切れた。
・稲刈り作業中、方向転換のため左に旋回した際、右デバイダを畦畔に接触し、デバイダが曲がった。
・稲刈り作業中、稲株に紛れていた鉄筋を誤って刈り取ってしまい、刈刃が割れた。　等。

**平成26年４月から11月までの共済金支払状況**

| 種　別 | 支払件数 | 支払金額 |
|---|---|---|
| トラクター | 57件 | 4,911,216円 |
| コンバイン | 33件 | 7,083,877円 |
| 田植機 | 12件 | 846,955円 |
| ハロー等 | 14件 | 1,148,162円 |
| **合　計** | **116件** | **13,990,210円** |

ブロードキャスタが接触して割れたキャビンガラス

接触した衝撃で割れた刈刃

## 建物共済から

☆風害雪害等自然災害の事故は、被害額　10,000円以上から支払い対象です。

### 平成26年度　被害状況

本年は、２月の記録的な大雪の影響により、県内各地で家屋倒壊等の損害を被り、いわき管内におきましても屋根瓦の崩落等の被害がありました。また春先にかけて全焼及び部分焼の火事が相次ぎました。

強風による倒木の被害

積雪により潰された納屋の下屋部分

平成26年４月から11月までの共済金支払状況

| 事故名 | | 支払件数 | 支払金額 |
|---|---|---|---|
| 総合共済 | 地震 | 2件 | 434,880円（平成25年9月発生地震分） |
| | 風害 | 3件 | 934,828円 |
| | 雪害 | 9件 | 1,778,894円 |
| | 計 | 14件 | 3,148,602円 |
| 火災共済 | 火災 | 7件 | 35,033,692円 |
| | 落雷 | 5件 | 764,619円 |
| | 車両の衝突 | 1件 | 58,757円 |
| | 計 | 13件 | 35,857,068円 |
| 合計 | | 27件 | 39,005,670円 |

## ふれあいの旅

今回は11月６日から７日までの２日間「日本の名旅館ホテル櫻井に泊まる群馬・長野」の旅が行われた。

陽光に映える紅葉の赤色や銀杏の黄色のコントラストが吹割の滝、吾妻渓谷、小諸壊古園をあでやかに彩り雄大でした。

草津温泉の湯を心ゆくまで堪能し、参加された方々は、「ゆっくりと楽しめました。」　など感想を口にし、旅を満喫されていたようでした。（大田原）

表紙紹介

## 甘さ段違いのこだわりいちご

船尾　重雄　さん
明美　さん

いわき市平下大越の船尾重雄さん（62）、明美さん（59）宅では温室ハウス３棟（総面積20アール）でイチゴを栽培している。娘の渡辺美子さん（37）、嫁の佳代子さん（33）も手伝い連日イチゴの収穫出荷作業におわれている。

昨年まではとちおとめとふくはるかの２種類を作付していたが、今年はふくはるか１品種にしぼり作付を行った。

自家製の堆肥を使うなど土づくりにこだわり作ったいちごは、甘味が強いのが特徴だ。

震災以降、津波の影響で土壌の塩分が高く、収量は震災前の半分ほどだという。

「なんとかまた、震災前の収量まで回復できるようにいろいろ工夫しながらがんばっていきたい。」と話す明美さん。

イチゴの収穫出荷作業は５月中旬ごろまで行われる。

箱詰め作業をする嫁の佳代子さんと娘の渡辺美子さん

## いわきの伝統野菜 とっくり芋

平下神谷

新妻信夫さんウタ子さん夫妻

いわき市平下神谷で伝統野菜、とっくり芋を栽培している新妻信夫さん（65）ウタ子さん（65）夫妻。父親の代から栽培をはじめて40年受け継がれている。

とっくり芋の起源は、昭和30年代、この地区の農家の1人が酒徳利のような面白い形の山芋（自然薯）を目にしたのが始まりで、独自の改良を重ね現在の形になった。ただ大変栽培が難しく、1回栽培したら同じ耕地に4年は栽培できない。また、芋の形をきれいないとっくりの形にするのが難しいそうだ。

食味については、粘性の弱い長芋と粘性の強い自然薯との中間のほどよい粘りをもっていて、クセやアクも少なく食べやすいのが特徴である。

現在、新妻さんは「JAいわき市とっくり芋生産部会」の部会長を務めている。部会結成当時は、40名程度の部会員がいたが、今では、9名になってしまった。

「部会員を増やすために、とっくり芋を作りたい人には、積極的に栽培技術を継承していきたいです」と新妻さんは話す。

ウタ子さんはとっくり芋の食べ方について。

「山かけに豚汁やチーズ焼き、天ぷらにしてもおいしいですよ。どれも手軽にできますし、ぜひみなさんに食べてほしいですね。」と笑顔で話してくれた。

とっくり芋をつかった料理

## マコモの若葉で商品開発

渡辺町

休耕田でマコモを栽培し、茎部分を「マコモタケ」として出荷するいわき市渡辺町の遠藤菊男さん（65）は、若葉を粉末化し加工品に練りこむ取り組みを新たに始めた。

「水田で栽培できるマコモの利点を生かし、農地の再生を目指している」と話す菊男さんと、妻の美喜子さん（59）は、経営する直売所「彩花園」で他の農産物と一緒にマコモタケを販売する。食物繊維やビタミンなどが豊富でカロリーが低く、ほのかな甘みとシャキシャキした食感が特徴という。

それまで未利用だったマコモの若葉を捨てずに使えないかと考えた菊男さんは、県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターのアドバイスを受け、乾燥・粉末化と成分分析を行ったところ、高い栄養成分が含まれていることがわかった。また、抹茶に近い香りと加熱しても褐変しにくいことを確認、そこでグリーンパウダーを練りこんだそうめんを開発し、販売を始めた。

販売する遠藤菊男さん

菊男さん、美喜子さんは「マコモの『グリーンパウダー』が持つ数多くの機能性を生かし、新商品の開発や知名度のアップを進めていきたい。グリーンパウダーをケーキや菓子に使って、直売所のレパートリーに加えたい」と抱負を話す。

▽問い合わせ＝彩花園（☎0246・44・3641）、午前9時～午後6時、日・水曜日営業

マコモ葉パウダーを練り込んだ「そうめん」

### NOSAI君クイズ

正解者の中から抽選で5名様に粗品をプレゼント

○に入る文字を答えて下さい。

Q1．昨年の雪害を受け平成27年2月より補償がさらに拡充されます。

A．NOSAIの○○○○共済

Q2．いろいろな食べ方があります。いわきの伝統野菜

A．○○○○芋

★応募方法★　クイズの答え、本紙の感想ご意見等を記入の上、ハガキかFAXでご応募下さい。住所とお名前をお忘れなく。

★締 切 日★　平成27年3月2日（月）　当日消印有効

■前回のクイズの答え　①親バカ　②ピコ

この広報紙に関するお問い合わせ先

〒970-8054　いわき市平鎌田町3-3　いわき市農業共済組合
TEL.0246－24－1166 FAX.0246－24－1169 までお願いいたします。